



禅の心

発行 安住寺（年4回発行）
臨済宗南禅寺派
大分県杵築市大字南杵築379
〒873-0002 TEL0978-62-2680
URL <http://www.anjuuji.net>
編集 矢野明玄 2・3頁
矢野玄德 1・4頁

中村文峰管長退任 後任に田中寛州師就任

南禅寺派管長の中村文峰老師が高齢により退任され、後任に田中寛州師が四月一日付けで就任される。
中村文峰師は、平成十四年に第十二代管長に就任。四期目の途中でしたが、九十歳の高齢になり諸行事を務めるのが困難となり、任期中でご退任されました。後任については、推薦と立候補により選挙で選ぶ決まりのところ、田中師の他に候補者が無く、無投票で第十三代管長に選ばれました。七十二歳。新管長に就任される田中寛州師は、大

意縁供養説教会 中止

諸般の事情により中止致します

卒塔婆供養のみ申し受けます。

四月二十九日十時より供養を

執り行います。参拝自由です。

合掌会総会も中止です

地区役員会での報告をもって
総会に代える予定です。

光雲寺仏殿



靈芝山光雲寺は、もと摂津にありましたが、寛文年間に東福門院の菩提寺として現在地に再興。

HP「靈芝山光雲寺」ご覧下さい



平成19年第2次後藤内局就任の時
中村管長を中心に大玄関前で撮影
新管長の写真が手元がありません。
「南禅」夏の号に載るでしょう。

阪市のご出身で、京都大学大学院を修了後、建仁僧堂や相国僧堂での修行を経て、平成十八年より南禅寺境外塔頭の光雲寺任職に就任。同寺併設の「南禅寺禅センター」を運営。毎年多くの学生達の坐禅指導を行ってきました。
南禅寺任職も兼ねますが、就任披露の晋山式は、来年四月に行う予定とのことでした。

春の花木

この木の名は？



安住寺境内の花木

3月24日撮影

タイムカプセルの開封

（答えは4ページに）

4月26日より29日まで

朝9時から午後3時まで

平成五年、本堂の改築を記念

して、檀信徒の皆さんより募集

集した物品を本堂のご本尊下に収

めました。二十五年目の今年

中途開封して皆さんに確認し

てもらったことにしました。秋

には、追加で収める品物を募

集します。自分の子供たちに

伝えたい物、あるいは後世に

遺したい物があればお考え下

さい。但し、金銭的な物や数

量にも制限が有ります。

【日常生活は何時に】

県内の病院でも、新型コロナウイルスが院内感染し、集団感染が起こった。

東京を中心とした大都市圏では、外出自粛、移動自粛の要請が出され、一週間先、一か月先の想像がつかないような状況で、心配でなりません。

東京都の小池知事は、新型コロナウイルスが感染爆発した場合、首都封鎖するロックダウンにも言及した。

子供たちも休校措置が取られ、色々な制限の中での生活でストレスも溜まってきていると思う。この一月以上、国民の関心事は新型コロナウイルスに集中している。

ノーベル賞生理学・医学賞を受賞された、京都大学・中山伸弥教授が、個人の責任で新型コロナウイルスについて情報発信するホームページを開設されました。偏った不安を煽る報道などもある中、最新論文や各国からのデータをもとに情報を発信され、注意を喚起している。

中山教授は、新型コロナウイルス問題を、一年は続く長いマラソンに例え、国民一人一人が賢い判断のもと油断なく取り組み、医療崩壊や社会

混乱が起きないようにと伝えられている。

新年を迎えた時にはだれも予想しなかった日常となっています。年初に予定しておりました、お寺の行事等も変更せざるを得ない状況となりました。

詳細につきましては、総代・地区役員様、合掌会役員様を通じてご連絡をすることとなるかと思いますが、ご協力ご理解を頂きますようお願い申し上げます。

また、檀信徒の皆様には新型コロナウイルスの情報に注視していただき、ご尊体ご自愛頂きますことを願っております。



*写真 三月某日葬儀のため東京に出向いた。早朝、近くの薬局に長蛇の列。マスクと消毒を求める行列だそうで、このころ当たり前の光景だと聞く。

◇お地藏さんも衣装替え

市内東下司地区の松本文子様より、今年も六地藏の前掛けを新調していただきました。

お彼岸にあわせてお地藏様も衣装替えです。

ありがとうございます。



へお地藏さん豆知識

もともとお地藏さんは、古代インドのバラモン教の神々として信仰されており、日蔵、月蔵、天蔵などとともに、星にまつわる神として信仰されました。

サンスクリット語では、「クシテイ・ガルバ」大地を母胎とするもの」の意であり、生命を生み出し育む、大地のような可能性を秘めた菩薩を象徴したもの。母なる大地の慈愛に満ち、人々の苦しみを救うと信じられていたそうです。

《日々是好日》

○一月三日安住寺年始会。総代様はじめ地区世話人様にご出席いただきました。○一月十七日大般若祈禱会法要。部内寺院様はじめ縁故寺院様にご出頭いただきお勤め出来ました。○二月五日市内千光寺様の大般若法要にお参り。○二月二十一日、南禅寺派部内会。来年度予定など確認。○二月二十三日、義父の三回忌、修行時代の師、岐阜永保寺・田中義峰老師の三回忌にお参りいたしました。○二月二十八日、役員総代会。来年度予算案並びに行事予定などにつきましてご協議いただきました。○三月二日、大分市白木龍雲寺様の大般若にお参り。○三月十二日、木付講。開基木付親重公の祥月命日のご法要。○三月二十日、彼岸会法要。木付講に続き、学校が休みの子供達と共に、お勤めいたしました。○三月二十二日、杵築市ひいな巡り人形供養祭をお勤め。○三月二十四日、杵築市仏教会役員会。来年度行事等について協議。○あつと言う間に、三か月が過ぎ今年も四月になりました。長女がこの春から中学生になります。身長が母親を抜き色々と頼りになるようになりました。合掌

【中村文峰管長猊下ご退任】

文峰老師との思い出

私が平成八年に修行道場に入門した時、文峰老師は六十六歳で何事にも私たち雲水よりも先に行動される、率先垂範の師匠でありました。

毎朝、正しく坐禅が出来ているか、日常が怠りなく勤められているかと、不意打ちに検単（見回り）にも来られた。こちら油断が出来ないが、多い時は三十名近い雲水が居りましたので、文峰老師も大変であったと思う。

修行二年目より、食事をはじめ日常のお世話をする隠侍のお役をさせて頂きました。何がよかったのか、気に入られたせいなのか、合計すると四年間隠侍を務めました。随行などであちこち御伴も頂きましたし、身近でお仕えしましたので大変勉強になりました。

また在家の方への布教にも熱心で、名古屋の中日新聞ビルで『臨濟録』の講義を暫くされたことがあります。私も運転手として御伴しました。

その第一回目は「四料揀」（しりょうけん）のお話をされました。「四料揀」とは四つの分類を意味

し、人（主観・自己）と境（客観・他者）をもちい、物の捉え方を四つの断面にして説くものです。（易しい説明を添えます。）

一、奪人不奪境だつにんふだつきょう自己を忘れて、他者を思う。客観世界に入り切った状態。利他の世界

二、奪境不奪人だつきょうふだつにん他者に惑わされず、客観世界に振り回されない、真実の自己になり切る。自利の世界。

三、人境俱奪にんきょうぐだつ主観客観、自己他者、二元的境を離れた無の世界。今なら、与党も野党もない、アメリカも中国もない、一丸となり新型コロナ撃退。

四、人境俱不奪にんきょうぐふだつ自己も他者も生かされた状態。自利利他円満の世界。花は紅、柳は緑。全てが生き生きと輝いた状態。

当時は入門したばかりで、難解で頭に入ってこなかったことを覚えていて。講座や講義の前の下調べ。或は

本を出版するにあたり、関係のある場所を直接訪ねるなど、とにかく綿々密々でありました。

管長猊下に就任されてから十八年間。長きに亘り、宗門の先頭に立たれお勤めになられたご労苦に敬意を示し、まだまだお元気でありますようお願いばかりです。



（二〇〇八年湯布院にて。左は長男。）

四年間も身近にいましたので、色々なことがありました。

そういえば、スリッパを投げ合って大喧嘩をしたこともありました。（洗濯の仕方がまずかったのが原因で）

夜中に突然、文峰老師が現れ「和解の盃だ」と言われ、湯呑に注いだ日本酒を二人で飲み干したこともありました。優しさも兼ね備えておりました。

秘仏観音御開帳

合齋会法要



〈秘仏閻浮檀金観音〉

令和三年の十月から十一月にかけて、秘仏観音の御開帳（一か月間・開扉法要と閉扉法要を行う）と十一月五日には第十五世玄海和尚五十回忌、第四世月叟和尚三百年忌、中興開山三室和尚三百五十回忌の合同法要を予定しております。

それに伴いまして、記念事業を進める予定にしております。

- ◆ 観音堂浜縁修繕
 - ◆ 位牌堂倉庫床板張替え
 - ◆ 位牌堂・庫裡・二階の雨樋取り換え
 - ◆ 監視カメラ設置
 - ◆ 墓地西側の水路整備
 - ◆ 裏参道駐車場整備並びに裏庭メンテナンス道整備
 - ◆ やすらぎの塔スロープ手すり設置
- 等々

暑さ寒さも彼岸まで

異常気象の性か、この冬雪が無く、裏の池にも氷が張る事もなかった。近年、風雨や気温も、これまでに経験した事も無いような現象が続いています。それでも彼岸も過ぎ、桜も満開になりました。花見の時期だが「群衆を避けよ」との国の方針で、今年の都会の花見は一変している。

さて、独秀流御詠歌の一曲

『彼岸会御和讃』には

一、暑さ寒さも彼岸まで
空には小鳥 地には花
み寺にせとに人おれて
二、ゆらぐみ明かし頬にはえ
子らもろとも手合せ
みたまに誓う六つの徳
彼岸会はげむとうとさよ
御詠歌

み仏のはてなき慈悲に
つつまれて 生きゆく幸を

ひびく鐘の音

〔南禅寺柴山全慶管長作詞〕
「暑い」「寒い」を連発しても、自然はチャント運行し、右往左往する人間の生活にお構いなしに廻つて来る。鳥がさえずり野山には、色と

りどりの花が咲き乱れる。寺に向かう小道には人があふれている。我が家の仏壇の前では、子供らと共に手を合せ、六つの徳行に励みます。と、誓う。更に私たちは、御先祖と自然の恵みに育まれ、生かされていることの有りがたさを感じましょう。と示されています。



菜の花満開の八坂川鉄橋を渡る特急ソニック

この度の新型コロナウィルスの世界的蔓延は、人類に対する警鐘か。否、罰ではないかと感ずるのは、私だけでしょうか。特に経済大国は、自然の恩恵を受けながら、どこまでも当然の如く地球を食い尽くしている。更に、有害物

質を出し続け自然を破壊している。そのような強欲な人間に天罰が下っていると思われてならない。遂に、オリンピック、パラリンピックの延期が決まりました。一日も早く新型コロナウイルスの感染が終息するように願って止みません。

「見えない敵」ですが、罹らないように、大勢の集まる所を避け、手洗いを励行し、お互いに気を付けましょう。

六つの徳行（六度）

- 一 布施 みんなで力になりあい きましょう
 - 二 持戒 みんなで決まりを守り きましょう
 - 三 忍辱 みんなで辛抱しあい きましょう
 - 四 精進 みんなで励む心を養い きましょう
 - 五 禪定 みんなで常に心の静けさを 保ちましょう
 - 六 智慧 みんなで心の中に信心の光をかかげましょう
- この六度を務めるのが彼岸中一周間の目的です。「閑栖記」

紙上の花見

お花見が出来なかった人のために



漸く咲きました。本堂改築記念の桜です。
(平成8年1月植樹) R2.4.2撮影

◇行事予定◇

- 四月四日・早朝坐禅会
- 四月八日・降誕会（花祭り）
- 四月十七日・一時・観音講
- 四月十八日・早朝坐禅会
- 四月二十四日・写経写仏の会
- 四月二十九日・卒塔婆供養
- 五月十八日・一時・観音講
- 五月二十九日・総代会（決算）
- 五月二十九日・世話人会（決算・引継）

坐禅会 基本・第二、四土曜日
四月より朝六時から
写経の会 五月22日・六月22日

独秀流御詠歌は休会中です

都合により変更することがあります。

花木名

- の ①木いちご ②山桜桃
③かりん ④杏子 ⑤密